

平成25年度
静岡県立浜松西高等学校
同窓会総会

日時：平成25年6月29日（土）、15:00-16:30

場所：浜松西高等学校 同窓会館会議室

静岡県立浜松西高等学校同窓会

430-8038 浜松市中区西伊場 3-1

浜松西支店 私書箱 71 号

Tel & Fax 053-456-0662

E mail hama24@shizuoka.email.ne.jp

平成25年度 浜松西高同窓会総会次第

1. 開会の辞

2. 会長挨拶

3. 名誉会長挨拶

4. 議 事

第1号議案 平成24年度同窓会事業報告（資料1参照）

第2号議案 平成24年度同窓会一般会計決算報告、および同監査報告（資料2-1、2-2参照）

第3号議案 「2013年新春の集い」事業報告、決算報告、および同監査報告（資料3-1、3-2参照）

第4号議案 役員改選（資料4参照）

第5号議案 平成25年度同窓会事業計画（案）（資料5-1、5-2参照）

第6号議案 平成25年度同窓会一般予算（案）（資料6参照）

第7号議案 「2014年新春の集い」事業計画（資料7参照）

第8号議案 役員選考委員会の設置について（資料8参照）

その他

5. 報告事項

1) 予定されている今後のスケジュール

- 会報発行：8月初旬
- 同窓会主催 開校記念講演会：11月20日（水）
- 慰霊祭：11月16日（土）13:30（慰霊碑の前で、雨天のときは同窓会館会議室）
- 役員会：11月16日（土）14:00（同窓会館、会議室）
- 2014新春の集い：平成26年1月2日、グランドホテル浜松
- 西山賞授与式、同窓会入会式：平成26年2月28日（金）
- 西山賞授与式（中等部）：平成26年3月19日（水）

2) 甲子園出場記念基金について：

6. 閉会の辞

平成 24 年度同窓会事業報告

会則に定められている下記の事業を実行した。

1. 浜松西高同窓会報の発行： 第 56 号を 8 月 1 日に 14,700 部を発行した。
2. 「2013 年新春の集い」の開催： 2013 年 1 月 2 日に開催し、607 名の同窓生が参加した。出席者は、
 去年の 772 名、一昨年 1008 名に比べ、大きく落ち込んだ。

これは、還暦年、幹事年よりも若い同窓生の参加が昨年に比べ極端に少なかった結果である。しかし、
 広告収入は、980 万円と去年の 1022 万円に拮抗している。

ここ 3 年間の出席者数、広告収入などの推移の状況については、「2013 年新春の集い」事業報告で
 議論する。

卒業年度別の参加者数のこの 3 年間のデータを巻末に添付した。参加者を増加させるための新
 春の集いの幹事はいろいろトライをしているが、なかなか成果に結びつかないで苦戦している。前
 向きで誰も気がつかない奇抜な提言を評議委員の方からお願いしたい。

3. その他本会の目的を達成するために必要な事業： 母校の発展に寄与するため、次の事業を行った。
 - 1) 講演会の開催
 講師：溝口紀子（高 42）静岡文化芸術大学、文化政策学部 国際文化学科、准教授
 タイトル：西高で学ぶということ
 - 2) 浜松西高等学校および同中等部の運動部・文化部の部員が全国大会に出場する際には激励賞を
 授与
 - 3) イギリスへの語学研修の際には資金援助（7 月 28 日—8 月 12 日）
 - 4) 全国レベルで活躍した高等部、中等部の生徒に、卒業時に西山賞を授与した。
 高等部：文化芸術部門：1 名；スポーツ部門：7 名
 中等部：文化芸術部門：2 名；スポーツ部門：2 名
4. 主な事業を実施した日にちは次の通りである。

年 月 日	事 業	備 考
平成 24 年 4 月 25 日	第 1 回執行部打ち合わせ（年間の事業計画、総会 の準備）	
5 月 29 日	第 2 回執行部打ち合わせ（総会の準備）	
6 月 16 日	平成 24 年度 同窓会総会（グランドホテル浜松）	出席者：78 名
8 月 1 日	第 56 号 浜松西高同窓会報 発行	発行部数：14,700
8 月 25 日	第 3 回執行部打ち合わせ（事業企画の実施方法等 の検討）	
9 月 26 日	第 4 回執行部打ち合わせ（役員会の準備）	
11 月 19 日	同窓会主催 開校記念講演会 講師：溝口紀子（高 42） 静岡文化芸術大学、文化政策学部 国際文化学科、 准教授 タイトル：西高で学ぶということ	会報に講演の要旨と写真を 掲載する予定である。

11月17日	同窓会役員会、慰霊祭（同窓会館）	出席者：47名
平成23年1月2日	2013年「新春の集い」（グランドホテル浜松）	参加者：607名
2月2日	「新春の集い」引き継ぎ会（同窓会館）	「2013年新春の集い」を実行した高45回のメンバーとこれから「2014年新春の集い」を実行する高46回のメンバーが一堂に会し、44回のメンバーから事業遂行のポイントの説明を受け、疑問点を討議した。
2月28日	平成24年度 西山賞授与式（高等部）、同窓会入会式（239名入会）	文化芸術部門：1名 スポーツ部門：7名 善行部門：なし
3月18日	平成24年度 西山賞授与式（中等部）	文化芸術部門：2名 スポーツ部門：3名 善行部門：なし
3月30日	「2013年新春の集い」決算および会計監査	
5月22日	平成24年度同窓会一般会計決算および会計監査	

平成 24 年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計決算書

収入総額	13,205,831 円
支出総額	3,860,286 円
差引残額	9,345,545 円

収入の部

(単位: 円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減額 (B-A)	備 考
繰越金	8,412,268	8,412,268	0	前年度繰越金
入会金	3,600,000	3,585,000	△ 15,000	高校65回卒業生239名
基金利子配分金	2,700	2,700	0	甲子園出場記念基金利子配分金
繰入金	700,000	124,338	△ 575,662	新春の集い剰余金
雑収入	20,000	41,525	21,525	預金利子、同窓会名簿代等
ITコン設備使用料	1,040,000	1,040,000	0	後援会より23年度から12年間回収
合 計	13,774,968	13,205,831	△ 569,137	

支出の部

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減額 (A-B)	備 考
事務費	700,000	559,443	165,857	
事務局費	400,000	397,616	2,384	事務局職員給与等
需用費	300,000	136,527	163,473	事務局改修費、複写機リース料等
会議費	600,000	317,967	282,033	
総会費	400,000	221,997	178,003	総会会議費
役員会費	200,000	95,970	104,030	役員会会議費
事業費	4,000,000	2,982,876	991,824	
会報費	2,500,000	2,303,857	196,143	ホームページ運営費、会報印刷代・送料、 会報編集委員会運営費等
助成費	1,500,000	704,319	795,681	慰霊祭、激励費、海外研修援助費、西山 賞、講演会謝礼等
予備費	8,474,968	0	8,474,968	
合 計	13,774,968	3,860,286	9,914,682	

平成 25 年 5 月 16 日

以上のとおり報告します。

静岡県立浜松西高等学校同窓会

会 長	稲垣	訓宏
会 計	鈴木	敏勝

上記の決算について証拠書類、出納簿を精査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

平成 25 年 5 月 22 日

会計監査

前田米壽



会計監査

市川静子



浜西高同窓会会計財産目録

平成25年3月31日現在

(一般会計)

(単位： 円)

摘	要	金 額
静 岡 銀 行	普 通 預 金	9, 3 4 5, 5 4 5

(一般会計基金)

前年度末残高	一般会計より	一般会計へ	受け取り利息	当年度末残高
8, 014, 276	0	0	203	8, 014, 479

摘	要	金 額
静 岡 銀 行	定 期 預 金	8, 0 1 4, 4 7 9
合	計	8, 0 1 4, 4 7 9

〈内訳〉		作成日	満期日	年 利
スーパー定期預金元利継続	507,668	25. 2. 18	26. 2. 18	0.025%
スーパー定期預金元利継続	506,811	25. 3. 20	26. 3. 20	0.025%
スーパー定期預金元利継続	7,000,000	24. 7. 5	25. 7. 5	0.025%

(新春の集い基金)

摘	要	金 額
静 岡 銀 行	普 通 預 金	2, 1 0 0, 3 3 2
合	計	2, 1 0 0, 3 3 2

2013年度 新春の集い 収支報告書

(単位:円)

	科 目	金 額	摘 要
収入の部	広 告 売 上	9,795,000	広告協賛企業468件
	チ ケ ッ ト 売 上	5,508,000	チケット販売枚数723枚
	記 念 品 売 上	725,000	Helloキティー手ぬぐい販売
	雑 収 入	116,315	祝儀他
	預 金 利 息	683	
	合 計	16,144,998	


	科 目	金 額	摘 要
支出の部	会 場 費	7,126,168	グランドホテル会場費等
	景 品 費	449,590	当日抽選会の景品
	印 刷 費	3,227,406	記念誌, チケット等
	通 信 費	692,458	携帯電話, 葉書等
	会 議 費	1,996,057	幹事会, 部会経費等
	事 務 費	87,348	文具等
	交 際 費	366,868	西高フォーラム, 総会等参加
	渉 外 費	1,144,080	クライアントとの打合せ等
	雑 費	141,720	写真代等
	その他(記念品販売)	788,965	手ぬぐい製作, 販促費用
	本 会 計 繰 入	124,338	
	合 計	16,144,998	

上記のとおりご報告申し上げます。


静岡県立浜松西高等学校

第45回卒 2013年度新春の集い幹事会

代表幹事

新野 正 

会計

水谷 守孝 

上記のとおり, 正確に処理され適正と認めます。

平成25年3月0日

会計監査

前田 米嶺 

会計監査

市川 静子 

平成25年6月21日

2013年新春の集いを終えて

当番幹事 高45回卒

テーマ『輝 ～ 人, 友, 未来 』

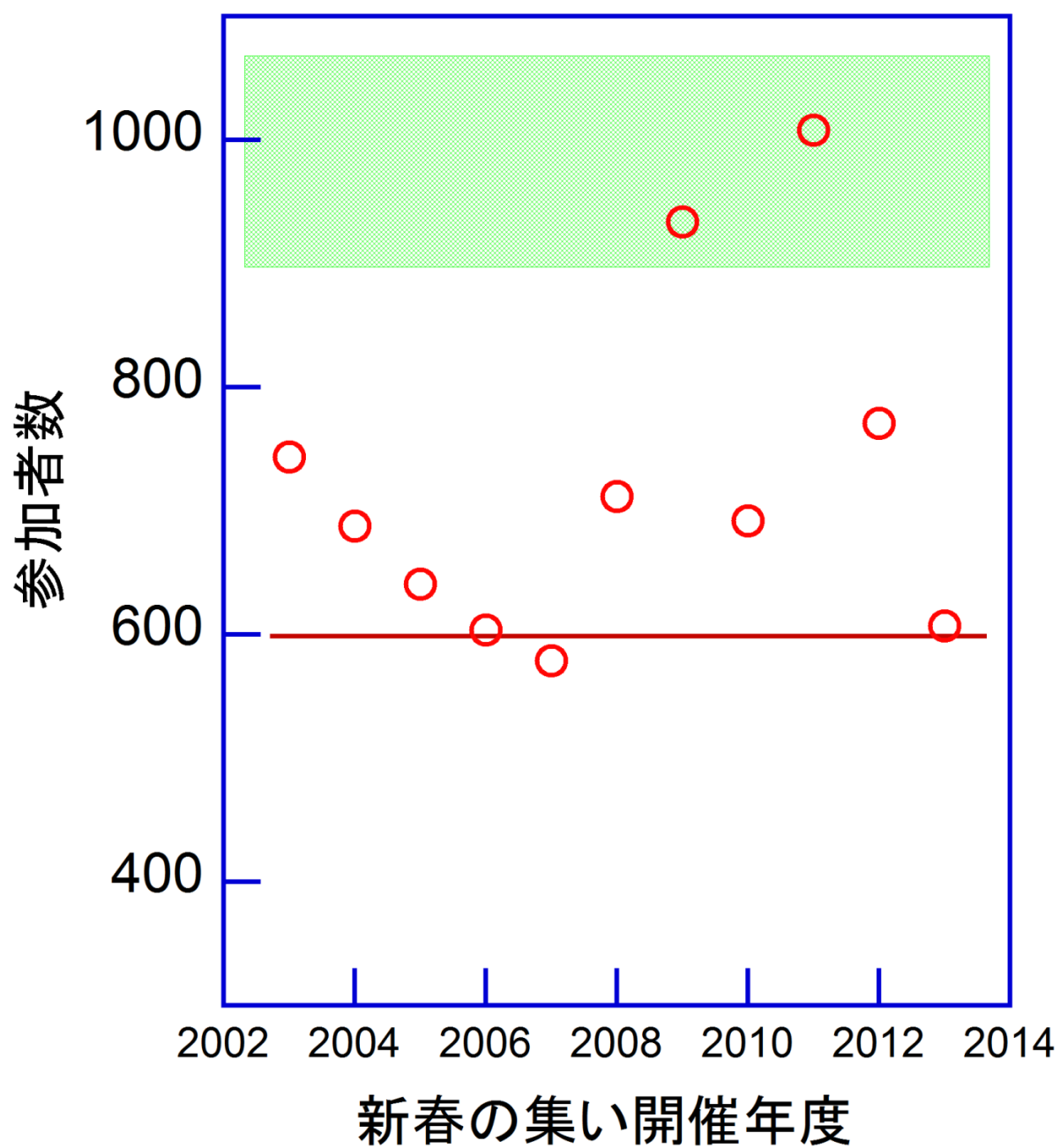
仲間との再会, 新たな出会いを機に自分の輝きをさらに増し, 友と明るく輝く未来をつくろう

1. 出席者数
607名 (昨年:772名 一昨年:1,008名)
2. チケット売上金額/売上枚数
5,508,000円/723枚 (昨年:7,239,000円/981枚 一昨年:7,630,000円/1,094枚)
3. 広告協賛金/広告協賛企業数
9,795,000円/468社 (昨年:10,319,000円/500社 一昨年:10,240,000円/505社)
4. 重要視した点
「人・友・未来」をテーマにした構成
→懐かしい思い出を語りあう演出, 全員参加型の催し, 記念誌と連動した企画
前年からの流れを汲む企画
→大抽選会の充実, オリジナル記念品販売
5. 当日のイベント内容
還暦者(高23回卒)お祝い, 新春大抽選会
エイサー演舞(遠州琉風舞エイサー団)
思い出VTR(60年, 70年代中心)
6. 反省すべき点
広告協賛, チケット販売への取り掛かりが遅くなってしまった点
幹事学年以下のアピール不足による集客数減
7. 評価していただいた点
全員参加型のエイサー演舞が盛り上がった点
当日撮影した写真でエンドロールを作成した点
8. 当番幹事としての感想
反省すべき点, 評価していただいた点等皆様からのご意見が色々ありましたが
諸先輩方や関係各位のご協力のもと, 無事当番幹事としての仕事を終えることが
できました。
今後は, 後輩たちへの協力を惜しまず, 諸先輩方とともに輝きたいと思います。

前期との比較

	項目		2011年 高43回卒	2012年 高44回卒	2013年 高45回卒	差額 (2012年)	
	収入	広告	広告協賛金収入	10,340,000	10,217,000	9,795,000	▲ 422,000
チケット		チケット販売収入	7,630,000	7,239,000	5,508,000	▲ 1,731,000	
その他		ご祝儀		78,000	80,000	116,315	36,315
		記念品販売収益			485,000	725,000	240,000
		還暦学年写真代収入		180,000	102,000	0	▲ 102,000
		受取利息		930	722	683	▲ 39
収入 合計			18,228,930	18,123,722	16,144,998	▲ 1,978,724	
支出	会場費		9,354,273	8,877,257	7,126,168	▲ 1,751,089	
	景品費		636,660	689,713	449,590	▲ 240,123	
	印刷費		3,212,767	3,859,891	3,227,406	▲ 632,485	
	通信費		389,057	581,429	692,458	111,029	
	会議費		2,003,599	1,314,917	1,996,057	681,140	
	事務費		102,580	52,983	87,348	34,365	
	交際費		264,500	231,500	366,868	135,368	
	渉外費		1,154,162	919,230	1,144,080	224,850	
	雑費		277,200	322,823	141,720	▲ 181,103	
	その他		6,090	485,000	788,965	303,965	
	支出 合計			17,400,888	17,334,743	16,020,660	▲ 1,314,083
本会計繰入			828,042	788,979	124,338	▲ 664,641	

「新春の集い」参加者の推移

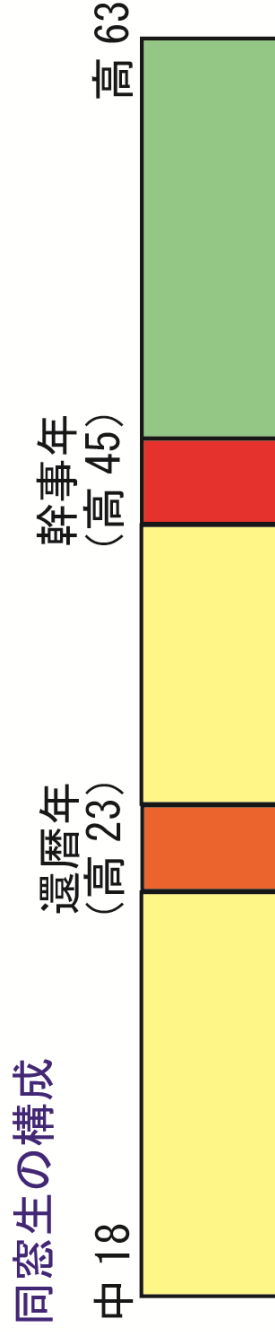


「新春の集い」出席者の分布

卒業回	2011年新春の集い	2012年新春の集い	2013年新春の集い
来賓		8	6
恩師		6	9
同窓会役員		8	7
中14	8	0	0
中15		0	0
中16		0	0
中17		0	0
中18		2	2
中19		2	0
中20		0	0
中21		1	0
中22		3	3
高1	0	0	0
高2	4	4	2
高3	8	4	4
高4	4	6	5
高5	6	6	7
高6	3	1	1
高7	4	11	8
高8	27	26	27
高9	14	16	14
高10	5	6	4
高11	7	11	9
高12	19	13	14
高13	5	4	5
高14	7	11	7
高15	3	4	3
高16	10	7	5
高17	0	1	1
高18	8	11	6
高19	4	7	6
高20	11	5	3
高21	93	11	7
高22	16	86	10
高23	20	13	57
高24	3	9	10
高25	15	13	17
高26	13	12	14
高27	2	1	1
高28	3	0	0
高29	10	10	10

高30	5	5	5
高31	9	6	6
高32	11	13	11
高33	8	8	4
高34	12	9	12
高35	7	6	6
高36	8	8	9
高37	3	9	8
高38	11	14	15
高39	6	3	5
高40	17	12	6
高41	24	14	3
高42	15	9	2
高43	175	20	14
高44	65	163	26
高45	37	48	136
高46	32	11	25
高47	59	22	8
高48	11	14	0
高49	47	6	2
高50	28	0	8
高51		0	2
高52		0	5
高53		3	1
高54		1	1
高55		0	1
高56		0	0
高57		2	0
高58		0	0
高59		0	0
高60		26	2
高61		0	0
高62		1	0
高63		0	0
不明	86		
合計	1008	772	607

「新春の集い」の出席者の動向（2011年 — 2013年）



	2011年新春の集い	2012年新春の集い	2013年新春の集い	「2011年新春の集い」と「2012年新春の集い」との差	「2011年新春の集い」と「2013年新春の集い」との差
総出席者数	1008	772	607	236	401
高1回から幹事年までの出席者数（還暦年を除く）	367	359	332	8 (3%)*	35 (9%)**
還暦年の出席者数	93	86	57	7 (3%)*	36 (9%)**
幹事年の出席者数	175	163	136	12 (5%)*	39 (10%)**
幹事年以降に卒業した同窓生の出席者数	279	134	55	145 (61%)*	224 (56%)**

* : 236に対する割合

** : 401に対する割合

平成 25 年度 同窓会役員

役 職	平成 24 年度		平成 25 年度	
	氏 名	卒業回数	氏 名	卒業回数
会 長	稲垣 訓宏	高 12	稲垣 訓宏	高 12
副会長	御室 健一郎	高 16	御室 健一郎	高 16
副会長	小笠原 守之助	高 23	小笠原 守之助	高 23
副会長	竹内 良訓	高 32	竹内 良訓	高 32
副会長	岩渕 千江	高 39	岩渕 千江	高 39
副会長	2013 年新春の集い幹事 新野 正	高 45	2014 年新春の集い幹事 藤田 薫	高 46
副会長	2013 年新春の集い幹事 中村 和泉	高 45	2014 年新春の集い幹事 原野扶有美	高 46
会 計	鈴木 敏勝	高 21	鈴木 敏勝	高 21
会計監査	前田 米蔵	高 12	前田 米蔵	高 12
会計監査	市川 静子	高 15	市川 静子	高 15
会報編集長	西尾 和三	高 24	岩渕 千江	高 39

平成 25 年度事業計画案

会則に定められている下記の事業を計画する。

1. 浜松西高同窓会報の発行： 8 月上旬に第 57 号の発行を予定している。
2. 同窓会ホームページの開設、運営、管理： ホームページは、開設時から近藤（高 9 回）さんが献身的に運営、管理をしてくださっている。しかし、これからも近藤さんに引き続きお願いするには大変心苦しい。現在のホームページの運営、管理するには専門的な知識が必要なシステムになっており、近藤さんの指導なしには運営、管理が難しい。現在のホームページのスタイルを崩さないでより簡便で運営・管理ができるシステムに変換し、近藤さんの負担を軽減するスタイルが可能になるようこの一年間で改善をはかる。
3. 会員名簿の発行： 平成 21 年に発行したが、平成 26 年に発行を予定する。
4. 「2014 年新春の集い」の開催： 2014 年 1 月 2 日に開催を計画している。
5. その他本会の目的を達成するために必要な事業：
 - 1) 開校記念講演会の開催： 11 月 20 日に実施予定、講師は選定中
 - 2) 浜松西高等学校および同中等部の運動部・文化部の部員が全国大会に出場する際には激励賞を授与
 - 3) イギリスへの語学研修（7 月 27 日—8 月 11 日）の際には資金援助
 - 4) 全国レベルで活躍した高等部、中等部の生徒に、西山賞を授与（2 月 28 日、高等部；3 月 19 日、中等部）

などを計画している。

主な事業の実施時期を下記にまとめた。

年 月 日	事 業	備 考
平成 24 年 5 月 22 日	平成 24 年度同窓会一般会計監査	
5 月 22 日	第 1 回執行部打ち合わせ（平成 24 年度の事業報告、決算案のとりまとめ、平成 25 年度事業計画案、平成 25 年度予算案の検討、総会の準備）	
6 月 29 日	平成 25 年度同窓会総会（浜松西高、同窓会館会議室）	総会：15:00-16:30
8 月上旬	浜松西高同窓会報 57 号発行	
8 月上旬	第 2 回執行部打ち合わせ（事業等の企画、進捗状況の検討）	
10 月上旬	第 3 回執行部打ち合わせ（役員会の準備）	
11 月 16 日	慰霊祭、ならびに役員会（浜松西高、同窓会館会議室）	慰霊祭：13:30 役員会：14:00

11月20日	同窓会主催 開校記念講演会（対象：中等部、高等部生徒）講師：選考中 タイトル：未定	
12月上旬	第4回執行部打ち合わせ（事業等の進捗状況の検討、「2014年新春の集い」の準備チェック）	
平成25年1月2日	「2014年新春の集い」（グランドホテル浜松）	
2月上旬	「2014年新春の集い」から「2015年新春の集い」への引き継ぎ会	
2月28日	平成25年度 西山賞授与式（高等部）、同窓会入会式	
3月18日	平成25年度 西山賞授与式（中等部）	
3月下旬	「2014年新春の集い」決算および監査	
4月下旬	平成25年度同窓会一般会計決算、監査 第5回執行部打ち合わせ会（本年度の事業のまとめ、来年度の事業計画の検討）	

浜西高同窓会報（第 57 号） 編集計画案

- 発行日： 8月上旬
- 内容：
 - 1) 「2013 年新春の集い」報告
 - 2) 「2014 年新春の集い」案内
 - 3) 会長ご挨拶
 - 4) 名誉会長（校長）ご挨拶
 - 5) 平成 25 年度同窓会総会の報告
 - 6) 平成 24 年度同窓会決算書の報告
 - 7) 叙勲者紹介
 - 8) 随筆（依頼先を検討中）
 - 9) 高 24 回（還暦年）の紹介
 - 10) 対北高 OB 戦：野球、サッカー
 - 11) 第 12 回西山フォーラムの報告： 2月16日（土）に開催
 - 12) OB ゴルフ大会の報告： 5月22日（水）に開催
 - 13) 各年度同窓会の報告（募集中）
 - 14) OB クラブ紹介： 陸上部
 - 15) 活躍する同窓生：4-5 名
 - 16) 第 9 回同窓会講演会：11 月 20 日に実施、溝口紀子（高 42 回、静岡文化芸術大学、准教授）、「西高で学ぶということ」のタイトルで講演、講演の要約、様子などをまとめる。
 - 17) 恩師訪問： 鈴木典夫 先生
 - 18) 西山賞の報告（受賞者と業績）：高等部 8名、中等部 5名
 - 19) 平成 25 年度本校入学者選抜について
 - 20) 平成 24 年度本校クラブ成績報告
 - 21) イギリス語学研修の報告
 - 22) 平成 24 年度本校入試結果の報告
 - 23) 編集後記

平成25年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計予算書（案）

収入総額 14,507,945 円
 支出総額 14,507,945 円
 差引残額 0 円

収入の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備 考
繰越金	9,345,545	8,412,268	933,277	前年度繰越金
入会金	3,600,000	3,600,000	0	高校66回卒業生240名
基金利子配分金	2,400	2,700	△ 300	甲子園出場記念基金利子配分金
繰入金	500,000	700,000	△ 200,000	新春の集い剰余金
雑収入	20,000	20,000	0	預金利子、同窓会名簿代等
エアコン設備使用料	1,040,000	1,040,000	0	後援会より23年度から12年間回収
合 計	14,507,945	13,774,968	732,977	

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備 考
事務費	700,000	700,000	0	
事務局費	400,000	400,000	0	事務局職員給与、事務局維持費等
需用費	300,000	300,000	0	複写機リース料等
会議費	600,000	600,000	0	
総会費	400,000	400,000	0	総会会議費
役員会費	200,000	200,000	0	役員会会議費
事業費	4,300,000	4,000,000	300,000	
会報費	2,800,000	2,500,000	300,000	会報印刷代・送料、会報編集委員会運営費・ホームページ・運営費等
助成費	1,500,000	1,500,000	0	慰霊祭、激励費、海外研修援助費、西山賞、講演会謝礼等
予備費	8,907,945	8,474,968	432,977	
合 計	14,507,945	13,774,968	732,977	

※科目間の流用を認める

2014年 新春の集い 事業計画

代表幹事 藤田 薫

テーマ 志～これから、ここから

いくつになっても志を持って生きる。当時の志、今の志、これから、ここから

- 1、日 時 平成26年1月2日 時間 未定
 - 2、場 所 グランドホテル浜松
 - 3、目標人数 1,000名 (2011年1008名、2012年772名、2013年607名)
 - 4、目標チケット売上 7,000千円 (2012年7,200千円、2013年5,508千円)
 - 5、目標広告協賛金 10,000千円 (2012年10,319千円、2013年9,795千円)
 - 6、チラシ、チケット (サンプル) 別紙にて
 - 7、テーマ「志～これから、ここから」に基づいた演出、構成を行う
具体的な活動は各事業部に分かれて実施
- ①式典 → 記念誌と連動し高校生時代の志の回顧などを企画
メインコンテンツは、昨年同様会場一体型な内容で企画中
- ②記念誌 → テーマに基づき作成
インタビュー 恩師、同級生など
- ③広告 → 7月から訪問開始
- ④チケット → 例年通り実施
- 8、課 題 来場者、広告協賛が年々減少傾向なので、皆様のご参加、協賛
をお願いします。
来場者増の為に、還暦の他に喜寿、米寿の人も呼びたいし、内容
に組み込ませたい。

役員選考委員会設置について

同窓会会則第 12 条は、会長、副会長、会計および会計監査の任期を次のように定めている。

1. 会長、副会長、会計および会計監査の任期は 2 年とし、再任を妨げない。
2. 補欠または増員のため選出された役員の任期は、次の改選期までとする。

現会長、副会長、会計および会計監査は、平成 24 年度の総会で選出され、平成 25 年度をもって任期が終了する。

また、会長、副会長、会計、会計監査の選考については、「浜松西高等学校同窓会、会長、副会長、会計、会計監査選考規定」（以下、選考規定）が定められている。

選考規定によれば、相談役ならびに正会員の中から会長が委嘱した選考委員で組織した選考委員会（第 2 条）に、次期会長、副会長、会計、会計監査の選出を委嘱する（第 3 条）。選考委員会は合議により次期会長、副会長、会計、会計監査候補者の選考し、選考委員長が選考結果を総会で報告する（第 5 条）ことになっている。

さらに、選考委員会の設置に関しては、会長が選考委員会の設置を役員会で報告することになっている（第 6 条）。

- 今回の選考では大幅な役員改選が予想されるので、役員会を待たずに選考委員会を設置したい。

平成 23 年度の選考委員会		平成 25 年度の選考委員会（案）	
相談役	脇本新一（中 17）	相談役	脇本新一（中 17）
相談役	鈴木富士男（高 3）	相談役	鈴木富士男（高 3）
相談役	川島順三（高 6）	相談役	川島順三（高 6）
評議員	河合九平（中 19）	評議員	河合九平（中 19）

静岡県立浜松西高等学校 同窓会会則

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、静岡県立浜松西高等学校同窓会という。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦と向上をはかり、併せて母校の発展に寄与することを目的とする。

(事務局)

第3条 本会は、事務局を静岡県立浜松西高等学校内に置く。

第2章 事 業

(事業)

第4条 本会は、目的達成のため次の事業を行う。

1. 会報の発行
2. 同窓会ホームページの開設、運営、管理
3. 会員名簿の発行
4. 「新春の集い」の開催
5. その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会報)

第5条 会報は、原則として年1回発行し、必要により臨時に発行することができる。

(会員名簿)

第6条 会員名簿は、原則として5年毎に作成し、実費をもって頒布する。

(委員会)

第7条 本会は、事業を運営するため、会報編集委員会、会員名簿委員会、校史編纂委員会、その他の専門委員会を設けることができる。

第3章 会 員

(会員)

第8条 本会の会員は、次の通りとする。

1. 正会員
 - (1) 静岡県立浜松第二中学校を卒業した者（併設中学校を含む）
 - (2) 静岡県立浜松第二高等学校を卒業した者
 - (3) 静岡県立浜松西高等学校を卒業した者
 - (4) 上記(1)~(3)または(3)の併設中等部に在学した者で会長の承認を受けた者
2. 特別会員 母校現職員
3. 客 員 母校の旧職員

第4章 役 員

(役員)

第9条 本会に、次の役員を置く。

1. 名誉会長 1名
2. 会 長 1名
3. 副会長 若干名
4. 会 計 1名
5. 評議員 年次別に若干名
6. 幹 事 若干名
7. 会計監査 2名
8. 相談役 若干名

(役員の仕事)

第10条 役員の仕事は、次の通りとする。

1. 会長 本会を代表し、会務を総理する。
2. 副会長 会長を補佐し、会務を執行する。会長事故あるときはその職務を代行する。
3. 会 計 本会会計を担当する。
4. 評議員 各年次の代表として、会務の浸透をはかる。

- 5. 幹事 母校との連絡を担当する。
- 6. 会計監査 本会の会計を監査する。
- 7. 相談役 会長の諮問に応じる。

(役員を選出)

第11条 役員を選出方法は、次の通りとする。

- 1. 名誉会長 母校現校長を推薦する。
- 2. 会長、副会長、会計および会計監査 総会において正会員の中から選考規定により選出する。
- 3. 評議員 卒業年次別に互選し、会長が委嘱する。
- 4. 幹事 母校に在職する会員の中から会長が委嘱する。
- 5. 相談役 会長経験者を会長が委嘱する。

(会長、副会長、会計および会計監査の任期)

第12条 会長、副会長、会計および会計監査の任期は、次の通りとする。

- 1. 会長、副会長、会計および会計監査の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 2. 補欠または増員のため選出された役員の任期は、次の改選期までとする。

第5章 総会

(招集)

第13条 総会は、毎年一回6月に開催する。但し、必要により臨時総会を開くことができる。

- 1. 総会は、会長が招集しその議長になる。

(決議事項)

第14条 総会に提出し承認を得なければならない事項は、次の通りとする。

- 1. 事業報告および決算
- 2. 事業計画および予算
- 3. 会長、副会長、会計および会計監査の選任
- 4. 会則の変更
- 5. その他の重要事項

(議決の方法)

第15条 総会の議決は、出席した会員の過半数による。ただし、可否同数のときは、議長が裁決する。

第6章 役員会 および執行部会

(役員会)

第16条 役員会は、必要に応じ会長が招集し、その議長となる。

役員会は、会務全般について審議する。

(執行部会)

第17条 執行部会の組織、および審議事項は次の通りである。

- 1. 執行部会は、会長、副会長、会計、会計監査から組織し、会長が必要に応じて招集する。
- 2. 執行部会は、総会に対する提出議案および会務を審議する。重要な緊急案件については、総会に代わって議決することができる。

第7章 会計

(経費)

第18条 本会の経費は、入会金、預金の利子、寄付金その他の収入をもってこれにあてる。

(入会金)

第19条 正会員は、入会の際、入会金として15,000円を本会に納入する。

(会計年度)

第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第8章 付則

(内規)

第21条 会則に規定しない細目については、内規をもって別に定める。

(施行)

第22条 この会則は、平成16年6月19日より施行する。

付則(平成20年6月14日、第10条、第12条、第16条、第17条の一部変更)
この規則は、平成20年6月14日から施行する。

浜松西高等学校同窓会、会長、副会長、会計、会計監査選考規定

第1条 この規程は会則第11条に基づき、総会に提案すべき「会長、副会長、会計、会計監査の選考」に関して定める。

第2条 選考委員会は、相談役ならびに正会員の中から会長が委嘱した選考委員で組織する。

第3条 選考委員会は、合議により、次期会長、副会長、会計、会計監査を選出する。

第4条 選考委員長は、選考委員で互選する。

第5条 選考委員長は次期会長、副会長、会計、会計監査候補者の選考結果を総会で報告する。

第6条 会長は、選考委員会の設置を役員会で報告し、総会での新会長、副会長、会計、会計監査の承認をもって選考委員会を解散する。

この規程の定めない事項については、選考委員会で定めるものとする。

この規則は、平成20年6月14日から施行する。